

# Urban Renaissance Agency

UR 都市機構 西日本支社 事業案内



# MESSAGE

1955年に設立された日本住宅公団を母体とする私たちUR都市機構は、設立以来65年あまりにわたり“まち”と“すまい”に関わるさまざまな課題に向き合ってまいりました。

現在は、「社会課題を超えていく」をメッセージとして掲げ、

- ◆ 都市再生事業として、都市の社会課題解決に資する都市再生の推進
- ◆ 賃貸住宅事業として、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備、持続可能で活力ある地域・まちづくりの推進、安心・安全・快適な暮らしの実現
- ◆ 災害対応として、国土の成り立ち、気象条件、地球温暖化の影響から増加傾向にある災害への備え、発災後の復旧、復興への支援について積極的に取組んでおります。

引き続き、西日本支社では、関西・中国・四国地方において、大都市における魅力向上と国際競争力強化、コンパクトシティの実現によるまちの活性化、安心・安全なまちづくりなどの政策的意義の高い都市再生の推進とともに、約400団地、約20万戸のUR賃貸住宅を活用し、多様な世代が生き生きと暮らし続ける住まい・まちの実現を目指し持続可能で活力のある地域・まちづくりを推進します。

また、災害時には、1995年の阪神・淡路大震災や2011年の東日本大震災における復興支援経験を踏まえ、被災自治体の復旧・復興をお手伝いしてまいります。

私たちUR都市機構は、長い歴史のなかで培ってきたノウハウを最大限に發揮して、これからも、地方公共団体や民間事業者の良きパートナーとしてあり続けるとともに、お客様のニーズに合わせたさまざまなサービスの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2022年12月  
独立行政法人都市再生機構  
理事・西日本支社長  
村上 卓也

## 未来に、つながるまちづくり。

まちづくりは、人のつながりづくり。

私たちが手掛けたまちが、誰をも笑顔にしてほしい。

地域の核となって賑わってほしい。

そして、地域全体が魅力的であり続けてほしい。

UR都市機構は、未来につながる“まち”をつくっていきます。

## CONTENTS

- 01 西日本支社長 MESSAGE  
03 UR都市機構の歴史

### 都市再生

- 05 うめきたプロジェクト  
07 都心部の再生  
09 地方都市の再生  
11 安全・安心のまちづくり

### 災害復興

- 13 復興に向けた取り組み

### 賃貸住宅

- 15 快適な居住空間の継続的提供  
17 都市デザイン  
19 まちのにぎわいプロジェクト  
21 大学との協働プロジェクト  
23 地域と連携した参加型プロジェクト  
24 多世代が安心して居住可能な環境整備<地域医療福祉拠点化>  
25 団地再生事業

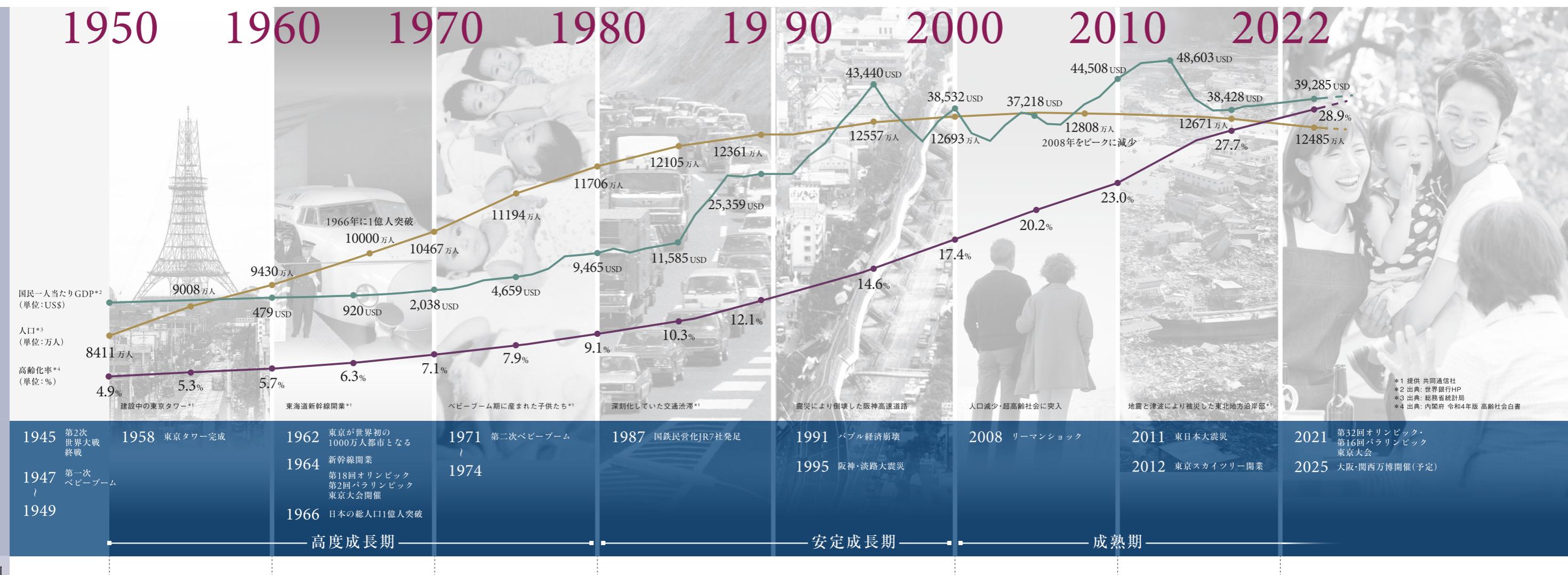
### 地域・まちづくり

- 29 持続可能で活力ある地域・まちづくり



# UR都市機構の歴史

日本社会のあゆみ



日本の政策の変遷

URのあゆみ



# 都市再生

民間事業者や地方公共  
団体の皆さまと協力し、  
都市再生を推進します。



うめきた2期区域及び先行開発区域グランフロント大阪(2020年2月現在)

## 産学官が連携して取り組む、 関西の発展を牽引する 「うめきたプロジェクト」



一日の乗降客数約250万人を誇る西日本最大のターミナルエリアに位置する梅田貨物駅跡地約24haを、  
産学官連携により、国際競争力の高い知的創造都市に生まれ変わらせるプロジェクト。  
URは、先行開発区域からプロジェクト全体のプロデューサーとして、うめきた地区のまちづくりに取り組んでおり、  
うめきた2期区域では基本構想及び基本計画の策定支援、コンセプト実現のための大規模土地の先行取得、  
並びに開発事業者の誘導と土地区画整理事業及び防災公園街区整備事業による都市基盤の整備により、  
『「みどり」と「イノベーション」の融合拠点』の実現をめざし、開発を進めています。



うめきた2期区域 うめきた公園イメージ\*

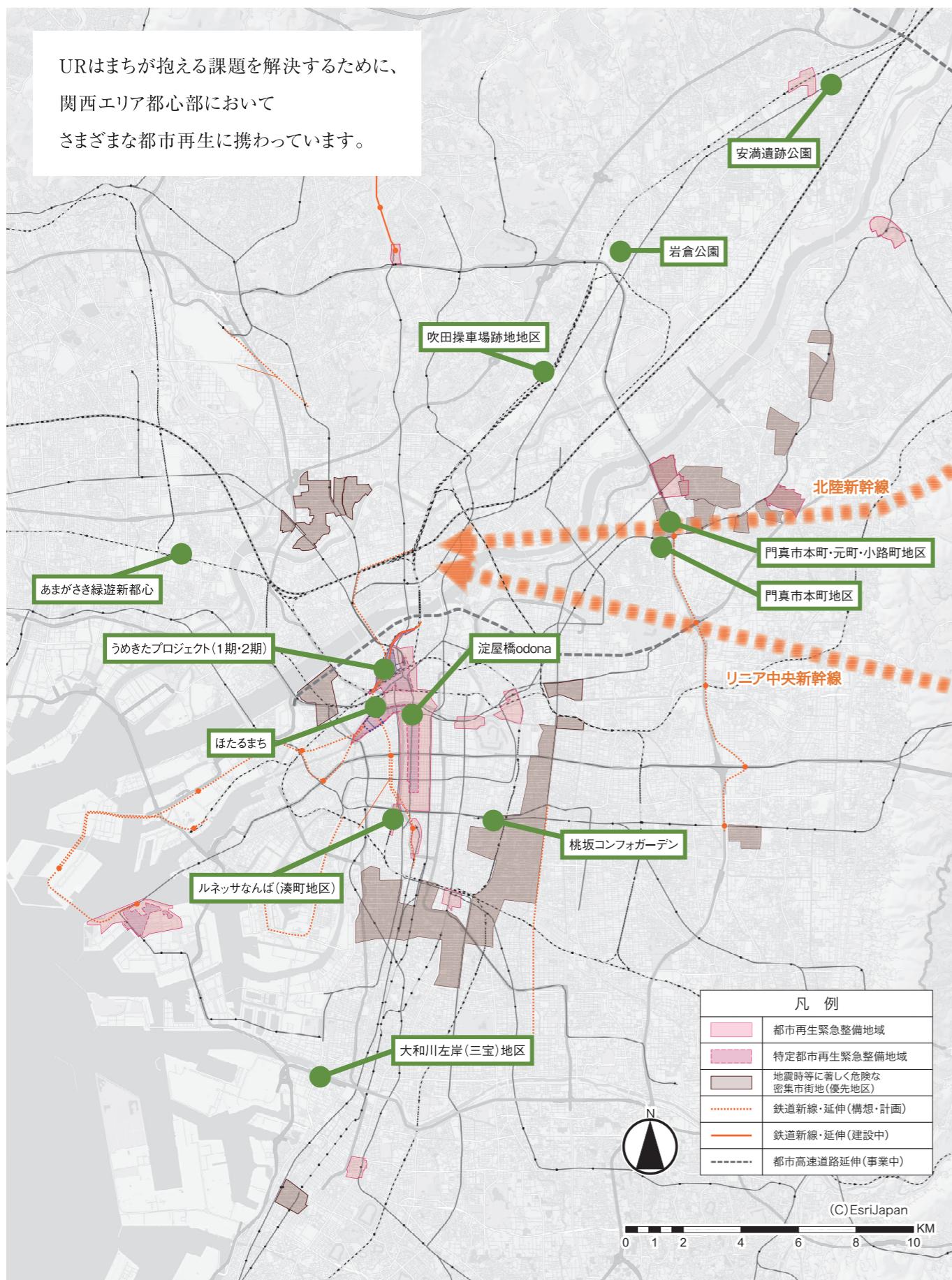


うめきた2期区域 全景イメージ\*

2022年5月時点のイメージベースであり、今後変更となる可能性があります。(提供:うめきた2期地区開発事業者)

# 都心部の再生

多様な手法による  
土地利用再編



日本最大級の操車場跡地に健康医療都市が誕生

## ► 吹田操車場跡地地区 (大阪府吹田市・摂津市)

1923年に開業した吹田操車場は、約50haの規模を誇り、「東洋一の操車場」と名を馳せましたが、貨物輸送の合理化によって1984年にその役割を終え、新たなまちづくりが進められることになりました。当地区では「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出をコンセプトに、医療健康及び教育文化創生ゾーンを中心として、都市型居住ゾーン、緑のふれあい交流創生ゾーンをバランスよく配置、URは土地区画整理事業による基盤整備や防災公園の整備、民間事業者の誘導を担いました。そして当地区は「北大阪健康医療都市～愛称：健都(けんと)～」として新しく生まれ変わりました。



## ► 淀屋橋odona



御堂筋に面した  
ビジネスのまちに  
賑わいを創出した  
URの市街地再開発事業

## ► ほたるまち



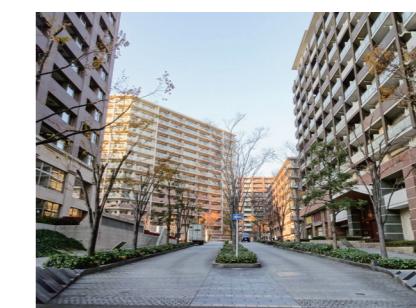
「水都・大阪」再生を  
先導する文化・情報、  
賑わい、居住が一体とな  
ったまちづくり

## ► ルネッサなんば (湊町地区)



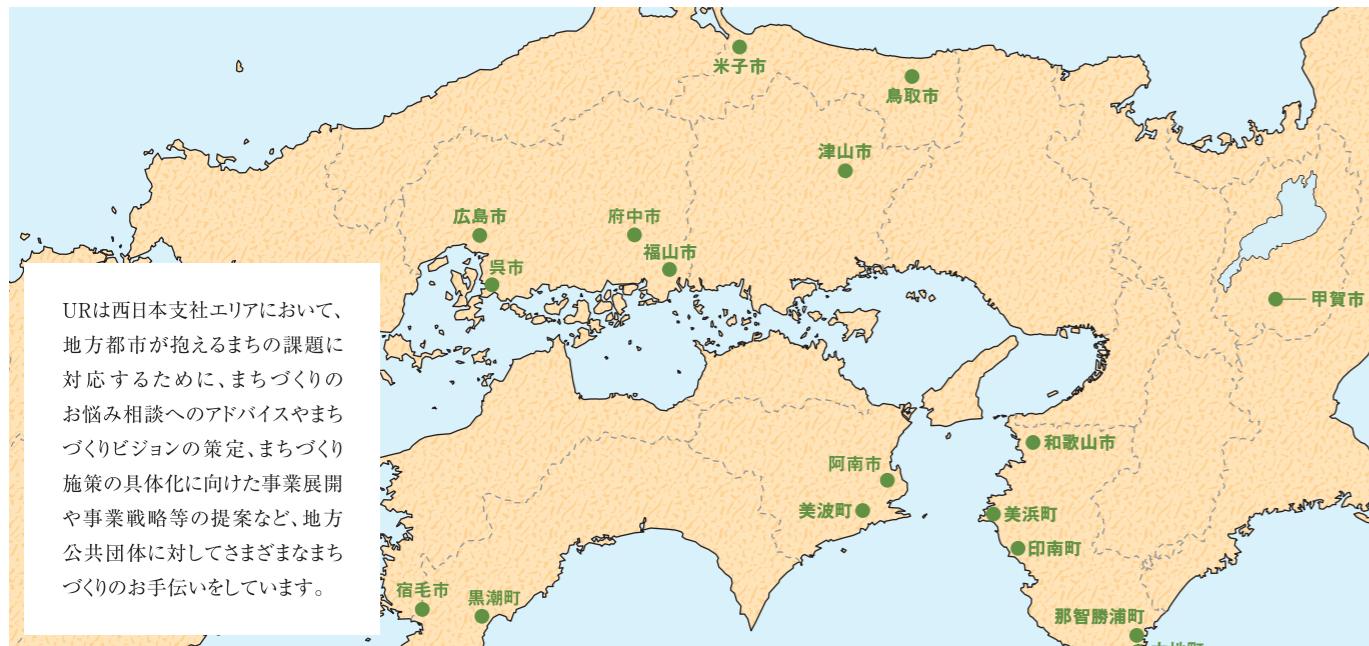
ルネッサなんば  
プロジェクトの一環として、  
ミナミの新拠点の形成を  
めざしたまちづくり

## ► 桃坂コンフォガーデン



「病診連携」と  
生活サービスの  
ネットワークで  
都市生活を  
支えるまちづくり

# 地方都市の再生



新しい「広島の陸の玄関口」の整備を推進

## ► 広島二葉の里地区 (広島県広島市)

JR広島駅に隣接した都心部に残されていた最後の一等地「二葉の里地区」。

URはこの大規模な低未利用地に新しい広島の陸の玄関口を創造するべく、土地区画整理事業により基盤整備を担い、多様な都市機能の導入が進められました。



JR広島駅周辺の回遊性を高め、交通結節点の強化を図るべく、URは広島市からの要請に基づき、当地区的関連公共施設として、「駅自由通路」と「ペデストリアンデッキ」の整備、並びに新幹線口広場の再整備を行い、世界からの来訪者を迎える広島の顔にふさわしい玄関づくりに貢献しました。

## リノベーションまちづくり

### ► 福山市伏見町(広島県福山市)

中国地方で4番目の人口を誇る広島県福山市。その顔となるのが、福山城に隣接し、新幹線のぞみも停車するJR福山駅です。しかし、合併等により市街地が郊外に分散した結果、空き店舗が目立つ都市のスボンジ化が起こり、その再生が急務になっています。URはJR福山駅前において、福山市のめざすリノベーションまちづくりによる再生への支援として、まちづくり用地の取得による民間リノベーションの促進や、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」をめざした社会実験などを実施しています。



## 公共空間を活用したにぎわい再生

### ► 津山市中心市街地(岡山県津山市)

津山市は、岡山県北部の中山間地域に位置し、古くは出雲街道要衝の城下町として発展した都市です。URは市からの要請を受け、市がまちの中心に有する市有地の活用方策検討を支援しています。当該市有地は、日本百名城のひとつに数えられ、春は見事な桜が咲き誇る津山城(鶴山公園)の真下に位置し、周辺には複数の登録有形文化財や博物館等地域資源が集積しています。地域の方々が誇りに思える空間の再生整備に向け、ハード・ソフト両面で支援しています。



## 「広島中心部のリーディングプロジェクト」

URは、地権者(広島市、中国電力ネットワーク(株)、(株)朝日新聞社、(株)朝日ビルディング、広島商工会議所)からの要請を受け、当地区的コーディネーターとして、「国際的なビジネス環境の形成に資する高規格オフィスの実現等による業務機能の高度化」、「国内外から多くの人を惹きつけるMICE・宿泊機能や観光・文化・情報発信機能の充実・強化」、「官民連携による公共空間を活用したにぎわいと交流機能の強化」等を官民連携で実現する広島都心部のリーディングプロジェクトを組成し、「基町相生通地区第一種市街地再開発事業」の代表施行者として事業を推進しています。



## 停滞していた事業の完遂支援

### ► 和歌山けやき大通り(和歌山县和歌山市)

和歌山市のメインストリートであるけやき大通りに面した当地区では、経済情勢の悪化により再開発事業が停滞していました。そこでURが事業完遂のため共同施行者として参画し、技術的支援・住宅保留床の取得・民間事業者への公募・譲渡等を実施。これにより事業は再始動し、美しいけやき大通りの街並み景観創出にも寄与することができました。



# 安全・安心のまちづくり

防災性向上のための街区整備



**【密集市街地整備事業】**

▶ **門真市本町地区** (大阪府門真市)

市営住宅や公設市場跡地等の未利用市有地を多く含む当地区において、防災性向上のため、これら用地を活用した防災道路の拡幅及び地区内建築物の不燃化が急務でした。URは、密集市街地の整備改善と防災性の向上を図るため、事業種地となる市有地を有効活用し、権利者、門真市、UR及び民間事業者の適切な役割分担のもと、防災街区整備事業を実施しました。また、消防活動困難区域の解消とともに、周辺環境に配慮した建築条件(階数、敷地面積)を付すことにより良好な居住環境を形成しました。



防災機能を備えた、地域に開かれた緑豊かな公園づくり



**【防災公園街区整備事業】**

▶ **安満遺跡公園** (大阪府高槻市)

京都大学大学院農学研究科附属農場の移転跡地において、弥生時代の遺跡を活用したい高槻市からの要請を受けて、広域避難地の機能を有する防災公園を整備しました。市街地部分の敷地を高槻市に譲渡され、高槻市は市街地部分において子育て支援施設及び道路を整備し、2019年3月に防災公園の一部(西エリア4ha)が開園しました。



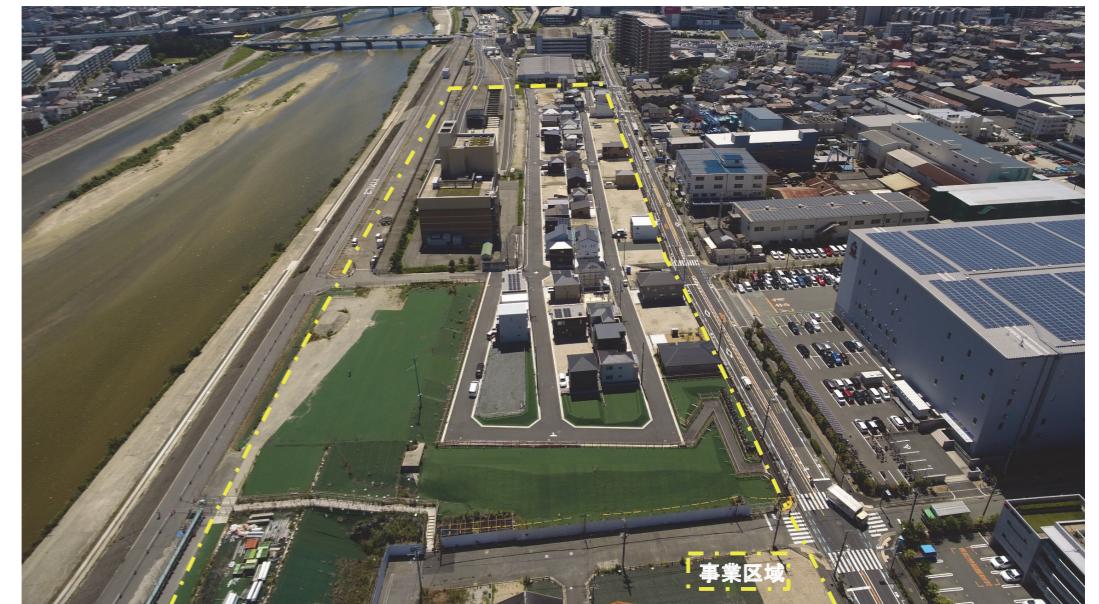
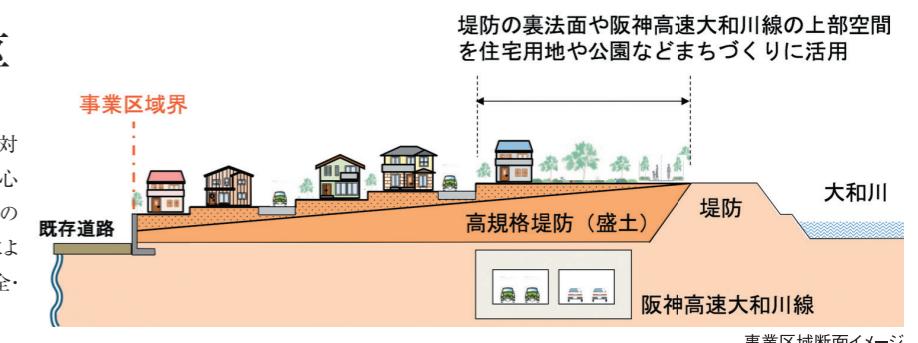
高規格堤防及び高速道路の整備と一体となったまちづくり



**【土地区画整理事業】**

▶ **大和川左岸(三宝)地区**  
(大阪府堺市)

大和川左岸(三宝)地区では、河川氾濫等の災害に対する防災性向上のため高規格堤防の整備と、大阪都心部における新たな環状道路として阪神高速大和川線の整備が進められています。URは土地区画整理事業による一体整備を行い、国土交通省、堺市と連携して安全・安心のまちづくりを進めています。



大和川左岸(三宝)地区整備状況(2022年6月現在)

事前防災まちづくりの支援



▶ **和歌山県及び徳島県沿岸部**

URでは東日本大震災の復興支援事業やこれまでの事業で培ったノウハウを活かし、南海トラフ巨大地震に備えた津波防災まちづくりの検討支援を行っています。和歌山県沿岸部の各地方公共団体との間では復興計画策定に向けた検討の支援等を行っています。また、徳島県美波町は南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域の指定を受けている地域です。URは美波町と津波防災まちづくりの推進に向けた協力協定を締結し、町が行う高台移転への技術的な助言等を行っています。



# 復興に向けた取り組み

## Disaster Support

阪神・淡路大震災以降に培ってきた復旧・復興の経験を生かして、東日本大震災や熊本地震など、大規模災害からの復旧・復興を全力で推進しています。

(基盤整備・住宅供給)  
神戸市復興計画のシンボルプロジェクト

### ▶ HAT神戸



HAT神戸・灘の浜

神戸市の中心・三宮の東約2kmに位置する「HAT神戸(神戸市東部新都心地区)」は、震災以前から臨海部の大規模工場の遊休化などに対応した土地利用転換を図る総合的な整備エリアでしたが、震災後は「神戸市復興計画」のシンボルプロジェクトとして、良好な居住環境と多様な機能の調和を図ることとなりました。URは、神戸市からの受託により、土地区画整備事業などの基盤整備を行うとともに、HAT神戸・灘の浜、脇の浜をはじめとする良好な住宅市街地整備などを行い、いち早い復興と生活再建に貢献しました。

(市街地の再開発)  
駅前の賑わいを創出する市民生活の拠点づくり

### ▶ ACTA西宮

商店や住宅が密集していた阪急西宮北口駅北東地区では、以前から再開発の動きがありました。しかし、実現に至らないまま、震災による被害を受けました。西宮市からの要請を受けたURは、約600名の権利者と話し合いを続けながら、駅前にふさわしい賑わいを持った安全で快適なまちを実現するために、市街地再開発事業によるまちづくりを行い、2001年に「ACTA西宮」が完成しました。



阪神大震災直後の現地の様子



ACTA西宮

(津波被災地域における復興市街地整備事業)  
パートナーシップ協定による包括的な復興まちづくり支援

### ▶ 宮城県女川町 女川中心部地区

URは復興まちづくりの担い手として、女川町とパートナーシップ協定を締結。女川中心部地区では、高台の造成や嵩上げをした地域に住宅地を集約して安全性を確保。低地部はJR女川駅の駅前広場とそこから女川湾に伸びる「レンガみち」を軸に商業・業務、交流施設、公共機能が集積するまちのシンボル空間となっています。



(災害公営住宅整備事業)  
伴走型のコミュニティ形成支援

### ▶ 宮城県塩竈市 市営錦町東住宅

塩竈市においては日本三景松島の一部である浦戸諸島を含め合計355戸の住宅をURが整備。また、各所の仮設住宅から集まってこられる入居者の方々の交流の場の設定やご入居後のコミュニティの形成についてなど市とともにURも企画・支援してきました。

写真は、URが整備しお引渡しした「市営錦町東住宅」の入居交流会。入居を心待ちにされていた皆さんを中心地元の方々と市長(当時)とUR理事長。

## 賃貸住宅

「ミクストコミュニティ」の実現をめざし、賃貸住宅を管理・整備します。

賃貸住宅の情報はこちら  




## 快適な居住空間の継続的提供

経年した賃貸住宅をリノベーション。団地景観に配慮した改修、現代の生活スタイルに合わせた間取りの改善など高品質の賃貸住宅を提供しています。

### ▶ MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクト



現代の多様化した日本の暮らしにおける、新たな賃貸リノベーションのスタンダードをめざしたプロジェクトです。

### ▶ 住戸内リノベーション

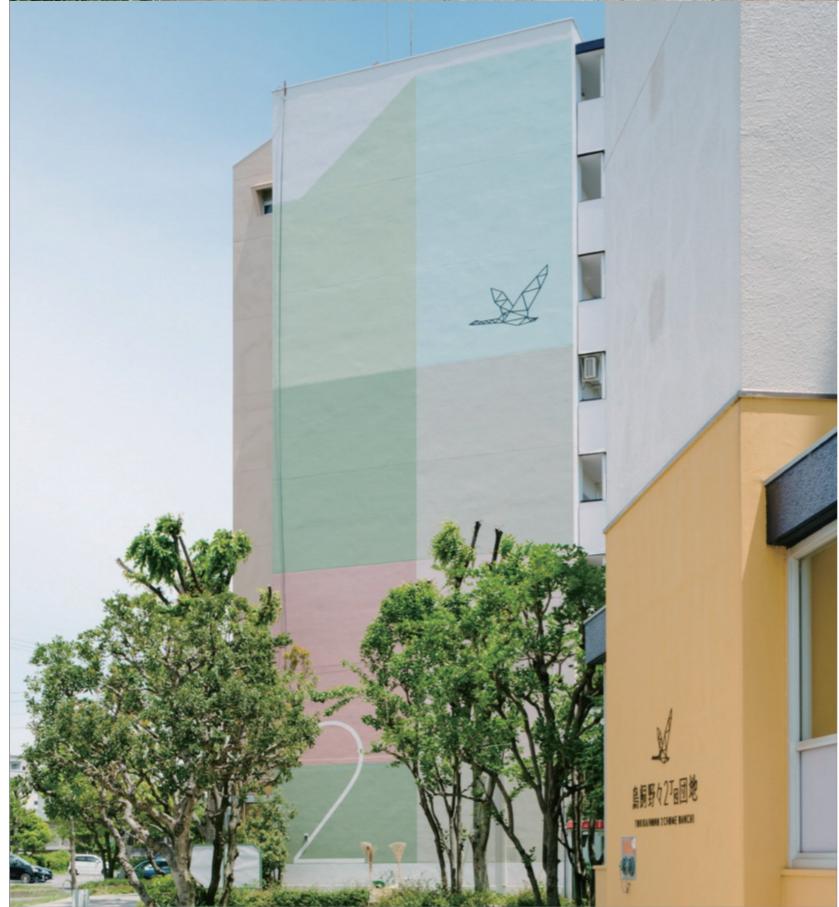


### ▶ 共用部リノベーション



Photo 株式会社環研研究所

# 都市デザイン



▶ 芦屋浜  
(兵庫県芦屋市)  
エントランス改修工事  
グッドデザイン賞(2017年度)



▶ 鳥飼野々二丁目  
(大阪府摂津市)  
外壁修繕・塗装工事  
日本サインデザイン最優秀賞(2017年度)  
グッドデザイン賞(2018年度)



▶ 夕陽丘(大阪市天王寺区)

バリューアップ修繕工事  
照明普及賞(2014年)  
グッド・ペインティング・カラー(改修部門)特別賞(2014年)

だんち  
まちうち  
カリグラシマガジン

2010年より、団地環境などの魅力についてホームページで情報発信しています。

2020年からは「カリグラシマガジンうちまちだんち」としてリスタート。

団地を中心にしながら、その周間に広がるまちの動きやひとつひとつの住まいにも目を向けて、  
そこにしかない暮らしの声を拾い、引き続き情報発信を行っていきます。



▶ 奈良学園前・鶴舞(奈良県奈良市)

建て替え工事  
グッド・ペインティング・カラー(新築部門)特別賞(2015年)





# まちのにぎわいプロジェクト

Partnership

UR×民間×行政  
事業連携

URは、地域行政との連携協定をベースとし、活性化のテーマ、コンテンツに応じて個別に民間企業とタッグを組み、多面的な施策を実施しています。団地を人が交流するプラットフォームとして活用いただくため、新たな暮らし方の提案やコミュニティ形成により、団地を超えた魅力あるエリアとして発信しています。



## ► 壁紙屋本舗LAB

2016年11月、団地内にOPEN。定期的に開催されるDIY関連のワークショップを通じて、住民同士のつながりが新たに生まれる創造拠点として活用されています。

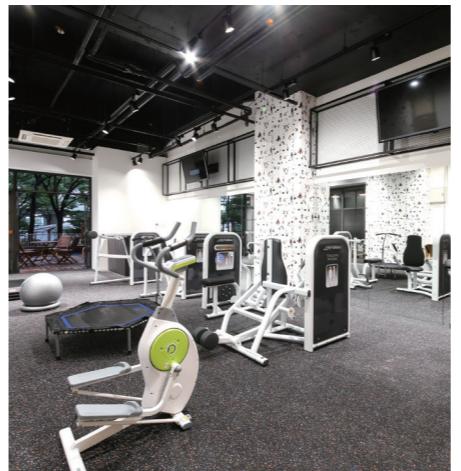


タイショウ  
TAISHO★UP  
アップ  
プロジェクト

大正区、民間企業とURの三者連携により「TAISHO★UPプロジェクト」を発足。千島団地内に「ものづくりの街」をテーマにさまざまなコンテンツを充実させ、イベントを開催。お住まいの方には住まいや地元に愛着を感じていただき、まちの活性化にも役立っています。

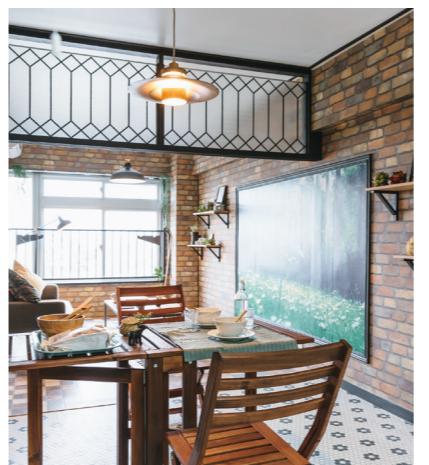
## ► Quick Dry Fit (フィットネス&コインランドリー)

UR賃貸住宅初の「洗濯代行＆宅配サービス付コインランドリー」。併設されたフィットネスでは洗濯の待ち時間を利用したエクササイズが可能です。また、お住まいの方限定で洗濯物の引き取りから返却までのサービスを行っています。



## ► 団地DIY

お住まいの方による壁紙の貼り替え、棚の取り付けなど全居室のリフォームを可能とすることで、新しい住まい手のニーズに応えています。団地内にはDIYの相談や購入・加工ができる「DIY工房」などがあります。



## ► 大正クラフトライフマーケット

「つくる・たべる・大正」をテーマに団地内で定期的に行われているイベント。「壁紙屋本舗LAB」の見学やアウトレットマーケット、音楽ライブやフード＆ドリンク出店があり、近隣の方々にも人気です。



## ► その他

お住まいの方が使える防音スタジオやアーティストがペインティングした壁面など、団地の暮らしを彩る工夫を施し、団地に興味を持っていただくなっています。



# 大学との協働プロジェクト

Co-working with UNIVERSITY

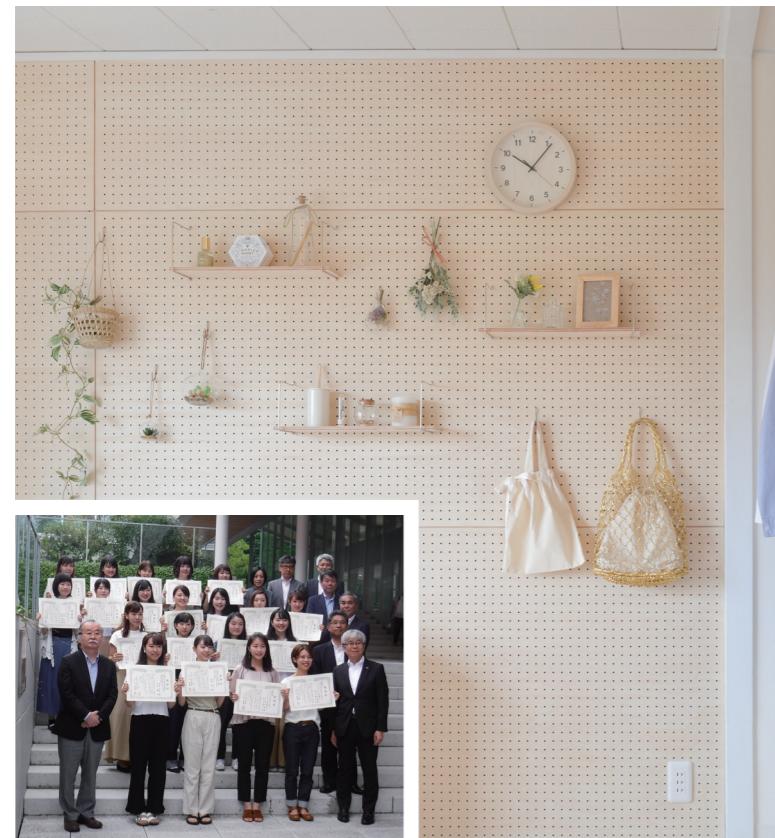
URでは、地域の大学とともに  
団地のリノベーションやコミュニティ支援などの取り組みを行っています。

## ▶ 京女×UR 『洛西ニュータウン団地リノベーションプロジェクト』

京都女子大学とURは2013年から洛西ニュータウン(京都市西京区)で「洛西ニュータウン団地リノベーションプロジェクト」に取り組んでいます。  
2年に1度開催されるコンペにより作品を決定。女子大生の感性が輝く細部にこだわったプランが数多く実現しています。



2019年学長賞受賞「変化する暮らし」 季節や暮らしの変化に応じて生活に寄り添える空間を提案しています。



### コミュニティ支援の取り組み

#### つどいの広場「まーぶりんぐ」



自治会、京都女子大学と連携して地蔵盆イベントを開催。親子連れて賑わいました。

#### 新林カフェ



2019年4月から洛西新林団地で始まったコミュニティカフェ。  
自治会、子育て支援施設とともにカフェやイベントを開催。

## ▶ 関大×UR 『男山団地地域再生・活性化プロジェクト』

男山団地において、八幡市、関西大学、URが連携を図って2013年にスタートした「男山地域まちづくり」。

KSDP(関西大学戦略的研究基盤団地再生プロジェクト)チームと行政、団地にお住まいの方との協力体制で、多彩な取り組みを行っています。



関大生によるリノベーションデザイン 緑豊かな団地の外部空間と住戸内のつながりを大切にしたリノベーションを実現。



### コミュニティ支援の取り組み

#### 交流スペース「だんだんテラス」の運営



アジア、アフリカ各国の若手行政官が「だんだんテラス」を視察。

毎朝10時からテラス前でラジオ体操を実施。



# 地域と連携した参加型プロジェクト

リサイクルスタディー 環境教育活動



2010年から建て替え団地周辺の小学4年生を対象に、環境教育活動として、建て替えによって生じた廃材の再利用について体験型出前授業を実施しています。

## 住民参加型プロジェクト



### 「みんなの庭」プロジェクト

千里青山団地で建築家の伊東豊雄氏と協働し、2015年よりコミュニティ醸成の取り組みを開始しました。お住まいの方が参加する、小さな丸い庭での活動を通して、出会い・ふれあい・助け合いの場と緑豊かな団地の景観を育むプロジェクトです。



### 香里D51(デゴイチ) — 住民参加型の共用空間リノベーション —

築50年を経過した香里団地D51号棟で大規模改修を機に「コミュニティ醸成」と「共用空間リノベーション」の取り組みを同時に実施。お住まいの方主催による共用ガーデンの整備などにより、住まいへの愛着を育むプロジェクトです。

# 多世代が安心して 居住可能な環境整備 < 地域医療福祉拠点化 >

Welfare

地域の関係者の方々と連携・協力しながら、豊かな屋外空間を備え、多くの方々が住まう団地を“地域の資源”として活用し、地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進していきます。団地を含む地域一体で、“多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち”『ミクストコミュニティ』の実現をめざします。

## 地域医療福祉拠点化の主な3つの施策

### 1. 地域における医療福祉施設等の充実の推進

団地を含む地域全体で在宅医療・介護サービス等が受けられる、安心して住み続けられる環境づくりをめざしています。



奈良市二名地域包括支援センター／奈良学園前・鶴舞団地

### 2. 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進

高齢者に対応した住宅や子育て世帯を支援する住宅等、幅広い世代や多様なニーズに対応した住宅の整備、共用部分のバリアフリー改修等を進めています。



在宅療養・介護リハビリモデルルーム／森之宮第2団地



ウォーキングコースの整備／富田団地

### 3. 若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地内の集会所等を活用し、多世代交流の機会の創出や生活支援サービス機能の導入を進めています。



元気づくり体操講座／新豊里団地



地域子育て支援施設「おひさまテラス」／男山団地

# 団地再生事業

多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちの実現をめざし、地方公共団体、民間事業者等とともに地域及び団地ごとの特性に応じた多様な活用を推進しています。

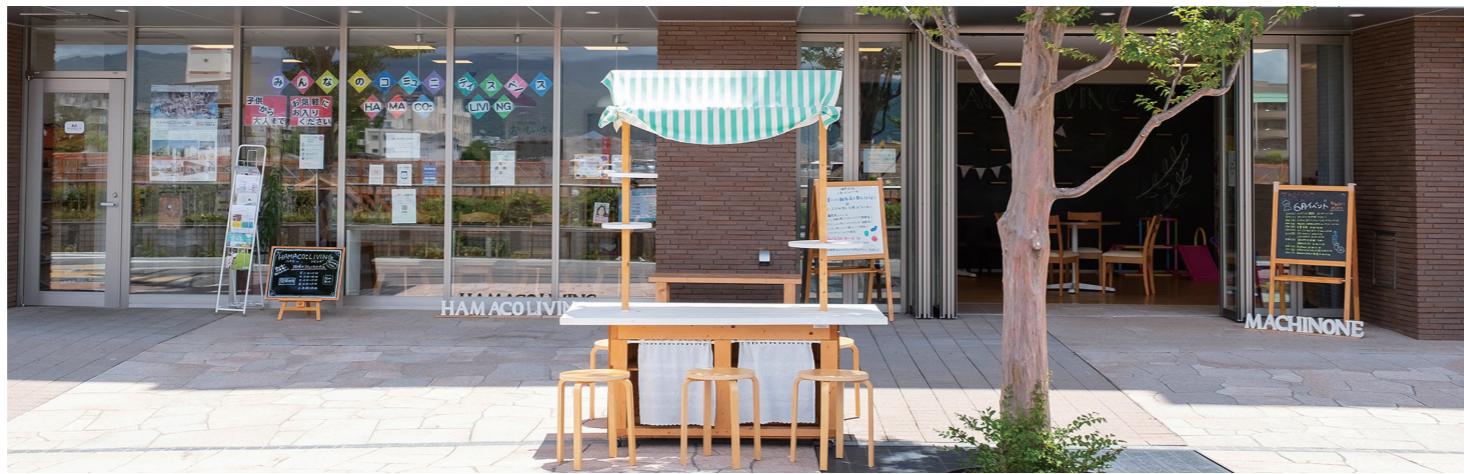


建て替え後の「浜甲子園なぎさ街」(Photo Ai Hirano)

## ▶ 浜甲子園団地 (兵庫県西宮市)



2000年度から浜甲子園団地の建て替えを始めています。かつての愛された浜甲子園団地の穏やかな住宅地というイメージを継承し発展させるため、複数の建築家・地域住民・行政・URが参加するワークショップ等により議論を重ねて設計作業が進められました。環境共生、防災、地区計画の導入、「まちの再生運営協議会」の開催などさまざまなまちづくりの取り組みを実践し、多様な世代がつながるまちへと生まれ変わっています。



コミュニティスペース「HAMACO:LIVING」

## ▶ 千里山団地(大阪府吹田市)

2008年に着手した千里山団地724戸の建て替えを契機に、URの関連公共公益施設整備制度(URが公共施設を地方公共団体に代わって整備する制度)を活用し、駅前広場、都市計画道路、公共下水道などの公共施設整備とUR賃貸住宅の建て替え事業を一体的に行い、阪急千里山駅周辺の課題であった交通混雑の解消や歩行者の安全確保等を実現し、地域に貢献しました。



整備後の阪急千里山駅周辺と建て替え後の「千里山団地」



整備後の阪急千里山駅 駅前広場

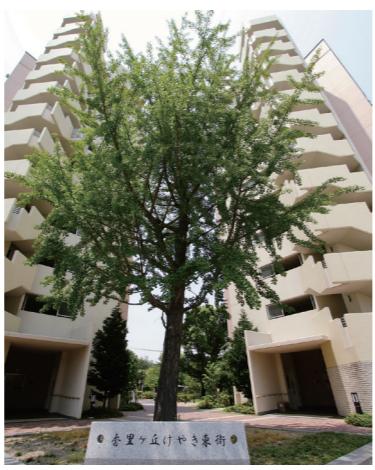
## ▶ 香里団地(大阪府枚方市)

建て替えにより、「香里ヶ丘みづき街」「香里ヶ丘けやき東街」「香里ヶ丘さくらぎ街」の新しい賃貸住宅が誕生しました。

建て替えや一部の地区における集約事業で生み出された整備敷地には、総合病院やクリニックモール等の医療施設、特別養護老人ホームやサービス付高齢者向け住宅等の高齢者福祉施設、スポーツジムやレストラン等の商業施設、民間集合住宅や民間戸建て住宅等が仲間入りし、魅力あるまちへと生まれ変わっています。



建て替え後の「香里ヶ丘みづき街」



建て替え後の「香里ヶ丘けやき東街」

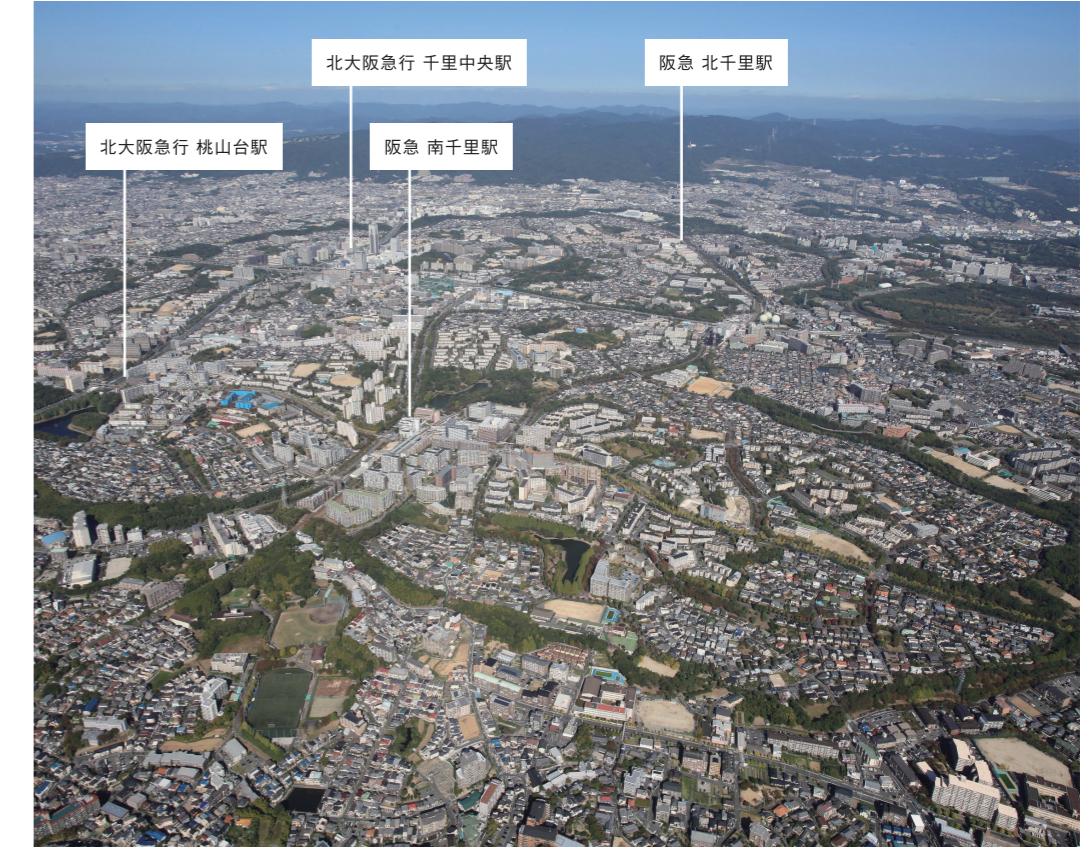


斜面林を活用したブレーバーク  
(冒険遊び場)

## ▶ 千里ニュータウン(大阪府豊中市・吹田市)

豊中市・吹田市にまたがる千里丘陵に開発された日本最初の大規模ニュータウン。

千里ニュータウンでは、9団地、約9,000戸のUR賃貸住宅を有し、千里竹見台団地、新千里東町団地、千里高野台団地で建て替えを始めており、魅力あるまちづくりを進めています。



千里ニュータウン(photo 株式会社市浦ハウジング&プランニング)

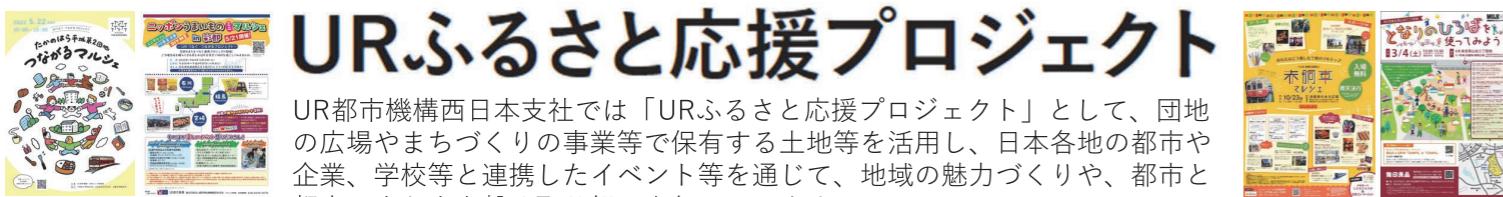
## 千里竹見台団地(大阪府吹田市)



建て替え後住棟

# 持続可能で活力ある地域・まちづくり

## 〔関係人口・交流人口の促進〕



### URふるさと応援プロジェクト

UR都市機構西日本支社では「URふるさと応援プロジェクト」として、団地の広場やまちづくりの事業等で保有する土地等を活用し、日本各地の都市や企業、学校等と連携したイベント等を通じて、地域の魅力づくりや、都市と都市、人と人を繋ぐ取り組みを行っています。



## 〔地方公共団体との政策連携〕

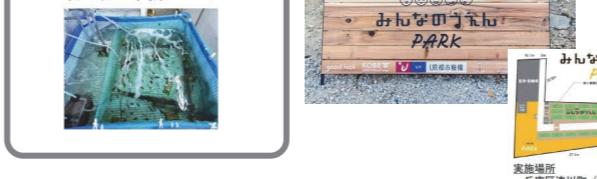
人口減少、少子高齢化など都市課題、社会課題への対応を地方公共団体と連携して取り組んでいます。

### 包括連携協定の締結



### 都市・まちの再生に向けたストック活用

新多聞団地（神戸市垂水区）で  
UR初の陸上養殖がスタート

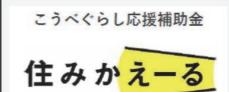


### 多文化共生・多世代交流の推進



郊外団地の活用による  
まちづくり

※出典:神戸市ウェブサイト



賃貸住宅・団地活用型  
郊外団地への住み替え  
4階建て以上のエレベーターのない共同住宅  
最大35万円  
(基礎額30万円、近居加算5万円)

地域・まちづくり 持続可能で活力ある地域・まちづくり

## 〔ステークホルダーとの連携〕

都市と街を結ぶ交通事業者と連携して、沿線価値の向上に向けて取り組んでいます。

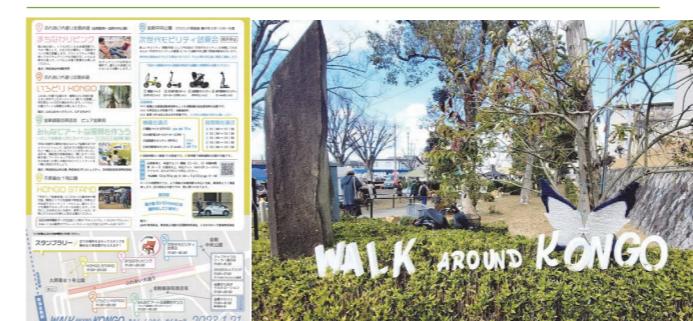
### JR西日本】JR三ノ宮新駅ビル開発



### 【阪神】赤胴車マルシェ(武庫川団地)

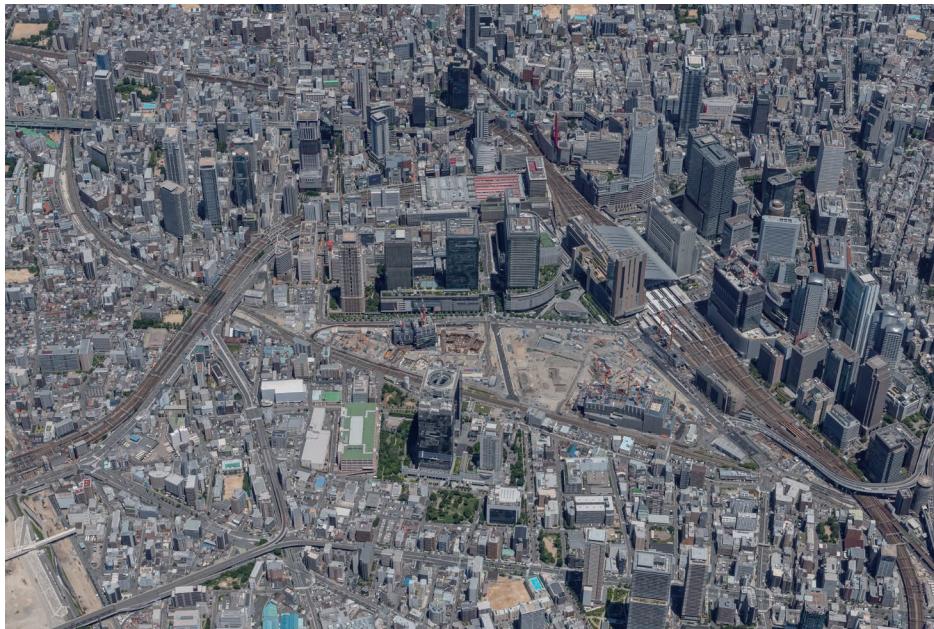


### 【南海】公民連携共創型社会実験 イベント(金剛団地)



### 【近鉄】平城・相楽NTまちびらき 50周年記念イベント





うめきた2期区域及び先行開発区域「グランフロント大阪」と梅田周辺

独立行政法人

# 都市再生機構

<https://www.ur-net.go.jp>



西日本支社ホームページ